

SDGs REPORT 2021

株式会社メタップス SDGsレポート2021

SDGs REPORT 2021

目次

| | | | |
|----|--------------|-------------|---------|
| 01 | TOPメッセージ | MESSAGE | 3p |
| 02 | SDGs宣言 | DECLARATION | 4p |
| 03 | メタップスについて | ABOUT US | 5p-6p |
| 04 | マテリアリティ | MATERIALITY | 7p |
| 05 | 事業活動を通じた取り組み | BUSINESS | 8p-11p |
| 06 | 事業活動を支える取り組み | CORPORATE | 12p-14p |

これまでの日本は、進学する学校や勤務する会社、住む場所などにおいて、ヒト・モノ・カネを“集中”させることで、成長を成し遂げてきました。アメリカでは、若いうちはニューヨークやサンフランシスコなどの大都市に人が集まりますが、ある程度年を重ねると地元の町に戻り、自然豊かな環境で子育てをする人も多いです。しかし日本では、地方から進学を機に上京すると、生涯東京に留まり続ける人が多く、一極集中がより顕著です。

こうした都市部にヒト・モノ・カネが集中する仕組みは、ある意味“制約”となりつつあります。多くの人気大学や有名企業が東京に集まり、収入やキャリア面での機会の多さもあり、東京に行かないと取り残されてしまう恐怖心を抱いてしまう人もいます。そのため、自然豊かな地方で穏やかな生活をしたいでも、地元の仕事が無いから仕方なく東京で働く、そんな制約を抱える人も少なくありません。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が大きな転機となりました。リモートワークや電子署名など、デジタル化が否応なしに進んだことにより、働き方や住む場所といった制約が少しずつ取り払われ、密の回避、ワーケーション、地方移住など、“集中”から“分散”への転換が始まっています。これは単なる人口の話だけでなく、個人が企業、組織から切り離され、権限と責任を持って自律的に生きていくことに繋がる「自律分散社会」の到来です。

このような社会変革を背景にして、当社は2020年8月に中期経営計画「The Road To 2025」を策定し、ビジョンも「世界を解き放つ」という言葉に刷新しました。自律分散社会の実現に向けて、テクノロジー企業ならではのアプローチで、これまでの固定観念や制約に縛られたビジネススタイル、ワークスタイルを打破し、“個の時代”を見据えた企業のあり方を先行して再定義していきたいというメッセージを込めています。

この考え方は、そのままSDGsにも繋がります。自律分散社会においては、様々な理由で制約を抱えている人やマイノリティに属するグループも含め、地球上の誰もが自由に活力ある生活を送ることができ、幸福を追求できると信じています。当社は、中期経営計画の中で「メタップスSDGs宣言」を発表し、持続可能な社会の実現を目指すSDGsに賛同し、本格的に取り組んでいく姿勢を示しました。

このたび、「メタップスSDGs宣言」の発表から約1年の節目に、当社としてのSDGsに対する思いや決意、取り組みの内容などをより詳細にお伝えするため、「SDGsレポート」を発刊することになりました。各事業を通じた貢献に加え、それを支える社内の制度や仕組みも整備し、定期的に進捗をご報告していきます。本レポートが、SDGsの輪を広げていく一助となれば幸いです。



株式会社メタップス 代表取締役社長
山崎 祐一郎

メタップスSDGs宣言

メタップスは、人々の価値観が大きく変化し、「豊かさ」や「生き方」の概念も多様化する時代を捉え、テクノロジーをフル活用することで、働き方をはじめ、人々を現実世界における様々な制約から解放し、自然と共生しながら、新しい価値創造と多様な幸せを追求できる社会の持続的発展を支援いたします。



MISSION

テクノロジーで お金と経済のあり方を変える

デジタル化が進み、時間や空間といった眼に見えない価値もデータとして認識できるようになり、人工知能やブロックチェーンといった新たな技術の誕生により経済のあり方も大きく変わろうとしています。私たちはこれらのテクノロジーを駆使し、世界中に埋もれている価値を有効活用することで、新しい経済を作ることを使命としています。

VISION

世界を解き放つ

世界中の誰もがテクノロジーにより様々な制約から解放され、自由に未来を創造できる社会を目指しています。“豊かさ”の概念が多様化する中で、それぞれが“個”としての生き方を追求することで、新しい価値観が醸成され、社会の持続的な発展に繋がると考えています。



OUR BUSINESS



ファイナンス (決済・金融)



決済サービスの提供を軸に、お金×テクノロジーに関わる事業を総合的に展開



マーケティング (広告・分析)



広告配信、販促最適化までデジタルマーケティングをワンストップで支援



DX支援 (SaaS・開発)



企業のDXを支援するSaaSや開発チームのマッチングサービスを提供



多様性のある社会・組織の実現

世界中の誰もが“個”としての生き方を追求できる環境を提供します



テクノロジーを活用した経済への貢献

あらゆる産業のあらゆるビジネスをテクノロジーの力で効率化し、よりスマートな経済を実現します



自然と共存した組織運営、事業活動の継続

ウイルスや自然災害、気象の変化、環境問題などに対応できる、持続可能な体制をつくります



ファイナンス



誰がどこに居ても利用可能な決済・金融サービスの展開を通じて、社会の利便性向上に貢献します。キャッシュレス社会実現に向けた多様な決済手段の提供と、顧客管理や請求管理等の決済に付随するマニュアル業務を効率化し、ペーパーレスを可能にする様々なクラウドサービスを継続的に立ち上げることで、フィンテック領域でのイノベーションを持続的に生み出す基盤を構築していきます。

■ 関連するターゲット例



8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。



8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。



8.10 国内の金融機関の能力を強化し、全ての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。



9.1 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。



9.3 特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。



10.c 2030年までに、移住労働者による送金コストを3%未満に引き下げ、コストが5%を越える送金経路を撤廃する。



12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。



15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な管理の実施を促進し、森林破壊を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で植林と森林再生を大幅に増加させる。

■ 取り組み事例

会員管理・決済システム「会費ペイ」



2021年3月末時点で、「会費ペイ」加盟店の約4割が個人でサービスを運営しており、法人を含めても中小規模の加盟店が多くなっています。人手が限られているからこそ、煩雑な事務作業の効率化は不可欠です。

「会費ペイ」は、会員制のサービス業に付随する事務業務を全て自動化することにより、加盟店が本来メインであるサービスの提供に注力できる環境づくりを目指しています。試算によれば、「会費ペイ」によって削減できる事務工数は、会員数100名の加盟店で1か月あたり185分にも及び、この時間を指導や接客に充てるのが可能です。

加盟店数は3,000を超え、削減した申込書類の総数は40万枚を突破。キャッシュレス化とともにペーパーレス化も実現しています。

給与即時払いサービス「CRIA」



「CRIA」は、従業員がスマートフォン・PCから申請することで、働いた分の給与を24時間365日受け取ることができるサービスです。給与口座への振込に加え、セブン銀行のATMに番号を入力するだけでも受け取れるため、銀行口座を作ることが難しい学生や外国人労働者の方などでも利用できます。



マーケティング



マーケティングは、広告主やメディア、アドテクノロジー、広告代理店など、多くのパートナーと連携することで成立します。当社がパートナーシップの中心となり、非効率な手作業や移動を削減するデジタルマーケティングを軸に、広告主や消費者の課題解決を推進します。また、エンドユーザーの需要を満たすだけでなく、大量消費社会が環境へ与える影響を意識し、本当に必要なモノやサービスのみを世の中に発信するためのマーケティング提案を行っていきます。

■ 関連するターゲット例



5.b 女性のエンパワーメント促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。



8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。




12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。



15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な管理の実施を促進し、森林破壊を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で植林と森林再生を大幅に増加させる

■ 取り組み事例

 データフィード最適化サービス「**Become Feed Platform**」


ECサイトなどの商品情報を広告配信先のフォーマットに自動で変換するデータフィード事業では、データをテクノロジーによって最適化し、事業者、ユーザーに有意義な情報を届けることで、広告運用の利便性向上に貢献しています。

DX支援



AIやブロックチェーンなどのテクノロジーを活用した様々なサービスの提供を通して、ビジネスを変革していくために必要な企業のデジタル化・自動化を推進します。また、持続的な経済・社会活動は情報セキュリティや個人情報などが安全に守られた上で構築されることを踏まえ、情報セキュリティ領域でも革新的なクラウドサービスを提供し、安全・安心な社会の実現に貢献します。

■ 関連するターゲット例



8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。




8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。



9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用およびGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。

■ 取り組み事例

 SaaS一元管理ツール「メタップクラウド」

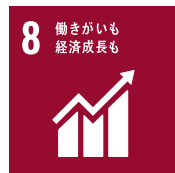

2021年3月より、社内で利用されているSaaS(Software as a Service：クラウドサービス)を一元管理できるツールとして提供を開始しました。利用状況の可視化やIDの管理によって、SaaSアカウントの管理にかかる時間・コストの増大や、パスワード漏洩といったセキュリティリスクなどの課題解決に貢献します。将来的には、情報システム部門に必要な業務の自動化を目指しています。

 フリーランス独立支援プログラム 

2021年8月より、報酬保証を受けながらフリーランスとしての経験を積むことができる「フリーランス独立支援プログラム」を開始しました。より柔軟な働き方が可能なフリーランスへの転換と収入の安定を支援することで、ITエンジニアのディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）実現に貢献します。

06 事業活動を支える取り組み

CORPORATE



コーポレート・ガバナンス体制の高度化を図り、ステークホルダーとの対話を通じて、社会に信用される企業統治を行います。

多様なバックグラウンドを持つ従業員が健康で働きがいを感じられる環境を整備するため、取締役会をはじめ、グループとして多様性を促進します。

テクノロジーを駆使した先進的な労働環境を構築し、大きな環境変化にも迅速に対応可能な、イノベーションの創出を持続的に進める組織づくりを行います。



■ 関連するターゲット例



3.3 2030年までに、エイズ、結核、マラリアおよび顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症およびその他の感染症に対処する。



3.4 2030年までに、非感染症疾患（NCD）による早期死亡を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。



3.7 2030年までに、家族計画、情報・教育、およびリプロダクティブ・ヘルスの国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関するヘルスケアをすべての人々が利用できるようにする。



5.1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。



5.4 公共のサービス、インフラ、および社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。



5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参加および平等なリーダーシップの機会を確保する。



8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する。



8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。



10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する。



12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。



12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。



15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な管理の実施を促進し、森林破壊を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で植林と森林再生を大幅に増加させる。



16.5 あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。

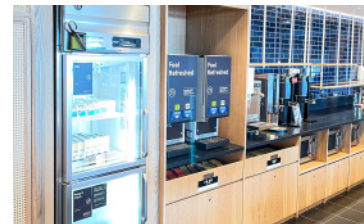


16.7 あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型、および代表的な意思決定を確保する。

■ 取り組み事例

● 本社を渋谷のシェアオフィスへ移転

2021年7月に、本社オフィスを「WeWork渋谷スクランブルスクエア」へ移転しました。これを機に、リモートワークを軸にした新たな働き方へ移行しています。2021年4月には、本格的な自宅環境の整備を推進するため、在宅勤務支援金の支給を行い、同時に月額5,000円の在宅勤務手当を支給開始しました。



● 雇用形態の多様化

正社員にこだわらず、契約社員、パート、業務委託など多様な雇用形態を認めています。副業も可能で、正社員から業務委託、業務委託から正社員への職系変更や、退職者の復活入社にも柔軟に対応しています。フリーランスの自由な働き方と正社員の安定を両立できる「フリーランス型正社員」も制度化し、現在2名が活躍中です。

● 女性役員比率40%、外国籍比率20%で構成された新経営体制

2021年3月、新取締役（監査等委員）3名が就任しました。多様性確保や監督機能の強化を目指し、3名のうち2名は女性、1名は外国籍を選任しました。

● 男性の育休取得を推進

女性だけでなく男性が育休を取得しやすい環境づくりを進めています。2020年4月に1名の男性社員が約3カ月の育休を経て復帰、2021年4月にも1名の男性社員が約1年間の育休を経て復帰しました。

● 業務のDX化を推進

環境への配慮や新型コロナウイルス対策として、取引先との契約締結時に必要な捺印、署名手続きを電子サインサービスに切り替えました。同時に、完全ペーパーレス化を推進しています。



metaps 

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT  GOALS

メタップスは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

<https://metaps.com/ja/sustainability/>